

株主のみなさまへ

第198期 事業報告書

2020年4月1日から2021年3月31日まで



拝啓、平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

第198期の業績および当社グループの取り組みにつきましてご報告申し上げます。

当連結会計年度におきましては、新型コロナウイルス感染症の流行により社会経済活動や人の移動等が大きく制限を受けるなど、当社グループを取り巻く経営環境は過去に経験したことのないほどの厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社は公共交通事業者としての責務を果たすため、お客様や従業員の感染予防の徹底を図りながら鉄道の運行継続に努めました。また、感染症流行の拡大防止に最大限留意しつつ、沿線地域の事業者等と連携した各種イベントを開催するなど、誘客活動による沿線地域の活性化と収益の確保に努めたほか、運行体制の効率化や全般にわたる経費の見直しなどにより費用の削減にも努めました。

以上のとおり、収益確保のための経営努力を重ねたものの、感染症流行の影響を大きく受けた結果、当連結会計年度の業績は、営業収益は3,933百万円(前期比27.8%減)、営業損失は639百万円(前期は217百万円の利益)、経常損失は497百万円(前期は203百万円の利益)となりました。さらに、不動産事業、観光事業、バス事業の各事業用資産のうち収益性の低下や時価の下落等が認められた資産について減損損失を計上したことから、親会社株主に帰属する当期純損失は531百万円(前期は222百万円の損失)となりました。

当期の配当金につきましては、会社法に定める配当可能原資を確保できていないことから、誠に遺憾ながら引き続き無配とさせていただきますと存じます。株主の皆様には、お詫び申し上げますとともに、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

当社グループは、鉄道事業を柱として事業展開していることから、公共交通機関としての「安全・安心・安定」を維持できる事業者であることが使命であり、輸送の安全、無事故無災害の達成を最優先課題に掲げております。この課題の達成に向け、全役員・従業員が、安全に対し常に意識して業務にあたるとともに、近年頻発・激甚化する自然災害などに対応すべくソフト・ハード両面における取り組みをさらに強化してまいります。

また、利便性やサービスの向上に向け、継続的に利用環境の改善を検討・実施してまいります。なお、ICカード乗車券システムの導入を予定(2022年3月)しております。

観光事業とバス事業につきましては、当期において減損処理を行わざるを得ませんでした。今後の事業環境を見据えながら経営改善策を策定し実施してまいります。

さらに、沿線地域においては、居住人口の減少や少子高齢化の進行により、労働人口の不足による人材の確保も大きな課題となってきます。このため、生産性の向上にも取り組みながら就業環境の改善を図り、従業員にとって魅力ある会社創りを進めてまいります。

最後に、当社グループを取り巻く経営環境の変化とそれへの対応について申し上げます。

現在、新型コロナウイルス感染症の流行により事業全般に大きな影響を受けておりますが、引き続き感染拡大予防のための適切な対応を図っていくとともに、公共交通事業者として安定運行の継続に最大限の努力を行ってまいります。また、感染の収束後には、社会経済活動のありかたは大きく変わることが予想されます。当社グループは、こうした変化に対応し、事業・サービスについて検討を行い、改善してまいります。

また、ふかや花園駅周辺において深谷市により進められている「花園IC拠点整備プロジェクト」は、大型商業施設等の2022年度開業に向けて工事が進行しております。開業後は、同駅周辺が新たな商業・観光拠点となり、交流人口の大幅な増加が期待されます。

このようなことから、経営環境は大きな転換期を迎えていると言えます。当社グループとしては、将来にわたり地域貢献を果たし続けるため、社会の変化へ対応しつつ既存事業の基盤強化を図ることは勿論のこと、環境変化により生じる事業拡大のチャンスを的確に捉え、さらなる成長につなげることができるよう、積極的な施策を検討し、実施してまいります。

敬具

2021年6月

代表取締役社長 大谷 隆 男

事業の概況

当社グループは鉄道事業を中核とし、不動産事業、観光事業、バス事業、その他事業を展開しております。当期におけるセグメント別の事業の概況は次のとおりです。

鉄道事業

鉄道事業におきましては、感染症の流行が続く中、従業員のマスク着用、列車・駅設備の消毒、車内換気をはじめ各種の感染拡大防止策を講じたほか、計画運休を行うことで乗務員等の感染による運行休止のリスク低減を図るなど、輸送の安全確保と運行継続に努めました。

3月には利用状況に応じたダイヤ改正を実施いたしました。

また、輸送の安全確保を最優先課題とし、設備面では踏切道拡幅工事や小前田駅の信号制御装置更新工事などを計画的に実施したほか、異常時訓練や安全指導などによる従業員の意識向上に取り組んだ結果、4期8年の連続運転無事故を達成し、関東運輸局長より表彰されました。

営業面では、感染症対策を徹底した上、三峰口駅「S L 転車台公園」オープン記念の鉄道フェスタをはじめ沿線の市町や商業施設、同業他社と連携したイベントを開催いたしました。また、企画列車の運転など旅客誘致に努め、2月には全般検査のため運休中であったS Lパレオエクスプレスの運行を予定通り再開したほか、各種記念乗車券の発売など積極的な増収施策に取り組みました。

しかしながら、沿線の各種行事の中止や鉄道利用を控える傾向が続き、定期・定期外旅客の人員及び収入は前期に比べ大幅に減少いたしました。貨物部門におきましては、石灰石輸送が減少したことに加え、前年度をもって石炭貨物輸送が終了したことなどにより、輸送量及び収入とも前期に比べ減少いたしました。

この結果、営業収益は2,675百万円(前期比23.4%減)、営業損失は544百万円(前期は30百万円の営業利益)となりました。



不動産事業

不動産事業におきましては、外出自粛などから駐車場の稼働率が低下したことが大きく影響し、賃貸収入は減少いたしました。

この結果、営業収益は324百万円(前期比15.5%減)、営業利益は168百万円(同15.4%減)となりました。



バス事業

バス事業におきましては、貸切バスの需要に回復が見られず大幅な減収となりました。

この結果、営業収益は83百万円(前期比78.3%減)、営業損失は159百万円(前期は6百万円の営業損失)となりました。



観光事業

観光事業におきましては、感染症流行の影響を受け、営業の自粛や縮小を実施いたしました。国や自治体の支援事業等の効果もあり一時的に観光需要の回復傾向がみられたものの、団体客などの利用が戻らず大幅な減収となりました。

この結果、営業収益は313百万円(前期比29.9%減)、営業損失は69百万円(前期は28百万円の営業損失)となりました。



その他事業

その他事業におきましては、旅行業では団体旅行の催行が困難な状況が続いたほか、卸売・小売業では販売が低調に推移し、それぞれ減収となりました。

この結果、営業収益は900百万円(前期比23.7%減)、営業損失は48百万円(前期は15百万円の営業利益)となりました。



連結財務諸表

連結貸借対照表の要旨

(単位：千円)

科 目	当連結会計年度末 (2020年度)	前連結会計年度末 (2019年度)	増減額
(資産の部)			
流動資産	2,398,231	2,305,969	92,262
固定資産	21,051,735	21,133,752	△ 82,016
資産合計	23,449,967	23,439,721	10,246
(負債の部)			
流動負債	4,636,644	3,500,364	1,136,280
固定負債	8,621,369	9,328,025	△ 706,656
負債合計	13,258,014	12,828,389	429,624
(純資産の部)			
株主資本	198,764	563,839	△ 365,075
資本金	750,000	750,000	—
資本剰余金	19,014	21,952	△ 2,937
利益剰余金	△ 538,724	△ 176,745	△ 361,979
自己株式	△ 31,525	△ 31,366	△ 158
その他の 包括利益累計額	9,981,625	10,035,780	△ 54,154
非支配株主持分	11,563	11,711	△ 148
純資産合計	10,191,953	10,611,331	△ 419,378
負債純資産合計	23,449,967	23,439,721	10,246

* 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

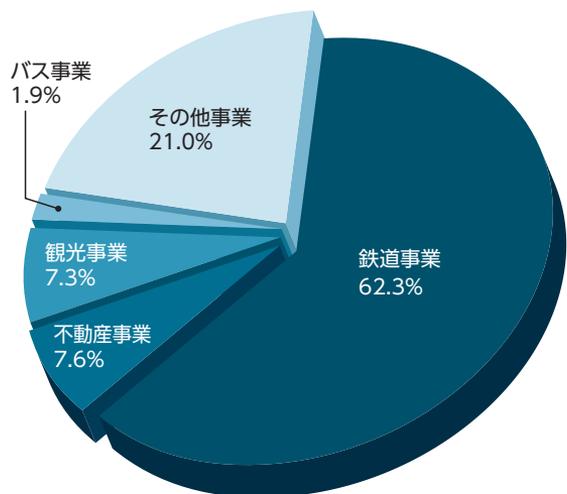
連結損益計算書の要旨

(単位：千円)

科 目	当連結会計年度 (2020年度)	前連結会計年度 (2019年度)	増減額
営業収益	3,933,279	5,449,035	△ 1,515,755
営業費	4,572,319	5,231,315	△ 658,996
営業利益又は 営業損失 (△)	△ 639,040	217,719	△ 856,759
営業外収益	182,338	37,314	145,023
営業外費用	41,007	51,977	△ 10,970
経常利益又は 経常損失 (△)	△ 497,708	203,057	△ 700,765
特別利益	124,769	1,022,630	△ 897,861
特別損失	455,638	1,142,082	△ 686,444
税金等調整前 当期純利益又は 当期純損失 (△)	△ 828,577	83,605	△ 912,182
法人税、住民税 及び事業税	13,863	44,951	△ 31,087
法人税等調整額	△ 309,648	261,622	△ 571,270
当期純損失 (△)	△ 532,792	△ 222,968	△ 309,824
非支配株主に帰属する 当期純利益又は 当期純損失 (△)	△ 1,451	5	△ 1,457
親会社株主に帰属する 当期純損失 (△)	△ 531,341	△ 222,974	△ 308,366

* 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

セグメント別営業収益構成比



連結株主資本等変動計算書

(単位:千円)

科 目	当連結会計年度 (2020年度)	前連結会計年度 (2019年度)
株主資本		
当期首残高	563,839	650,629
当期変動額		
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)	△ 531,341	△ 222,974
自己株式の取得	△ 162	△ 773
自己株式の処分	4	-
持分変動による増減額	19,548	△ 124
土地再評価差額金の取崩	146,875	137,083
当期変動額合計	△ 365,075	△ 86,789
当期末残高	198,764	563,839
その他の包括利益累計額		
当期首残高	10,035,780	10,362,945
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△ 54,154	△ 327,165
当期変動額合計	△ 54,154	△ 327,165
当期末残高	9,981,625	10,035,780
非支配株主持分		
当期首残高	11,711	11,664
当期変動額		
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△ 148	46
当期変動額合計	△ 148	46
当期末残高	11,563	11,711
純資産合計		
当期首残高	10,611,331	11,025,239
当期変動額		
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)	△ 531,341	△ 222,974
自己株式の取得	△ 162	△ 773
自己株式の処分	4	-
持分変動による増減額	19,548	△ 124
土地再評価差額金の取崩	146,875	137,083
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△ 54,302	△ 327,118
当期変動額合計	△ 419,378	△ 413,908
当期末残高	10,191,953	10,611,331

* 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。



個別財務諸表

個別貸借対照表の要旨

(単位:千円)

科 目	当会計年度末 (2020年度)	前会計年度末 (2019年度)	増減額
(資産の部)			
流動資産	1,937,317	1,857,232	80,085
固定資産	20,933,638	20,899,923	33,715
資産合計	22,870,956	22,757,155	113,801
(負債の部)			
流動負債	4,496,846	3,264,877	1,231,968
固定負債	8,348,022	9,248,091	△ 900,068
負債合計	12,844,869	12,512,968	331,900
(純資産の部)			
株主資本	51,805	234,623	△ 182,818
資本金	750,000	750,000	—
資本剰余金	14,143	14,143	—
利益剰余金	△ 680,813	△ 498,152	△ 182,660
自己株式	△ 31,525	△ 31,366	△ 158
評価・ 換算差額等	9,974,282	10,009,562	△ 35,280
純資産合計	10,026,087	10,244,186	△ 218,099
負債純資産合計	22,870,956	22,757,155	113,801

* 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書の要旨

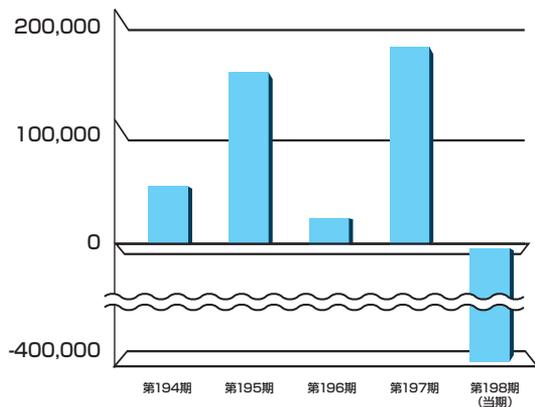
(単位:千円)

科 目	当会計年度 (2020年度)	前会計年度 (2019年度)	増減額
鉄道事業			
営業収益	2,675,186	3,491,346	△ 816,159
営業費	3,219,380	3,460,805	△ 241,424
営業利益又は 営業損失(△)	△ 544,193	30,541	△ 574,734
不動産事業			
営業収益	324,342	383,989	△ 59,646
営業費	155,700	184,703	△ 29,002
営業利益	168,641	199,285	△ 30,644
観光事業			
営業収益	205,677	307,883	△ 102,206
営業費	255,574	334,369	△ 78,794
営業損失(△)	△ 49,897	△ 26,485	△ 23,412
全事業営業利益 又は営業損失(△)	△ 425,449	203,341	△ 628,791
営業外収益	77,993	37,750	40,243
営業外費用	51,467	66,317	△ 14,850
経常利益 又は経常損失(△)	△ 398,923	174,773	△ 573,697
特別利益	134,011	1,020,137	△ 886,126
特別損失	346,060	1,018,011	△ 671,950
税引前当期純利益 又は当期純損失(△)	△ 610,973	176,900	△ 787,873
法人税、住民税及び事業税	1,890	29,485	△ 27,595
法人税等調整額	△ 294,138	283,837	△ 577,975
当期純損失(△)	△ 318,724	△ 136,422	△ 182,301

* 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

個別経常利益推移表

(単位: 千円)

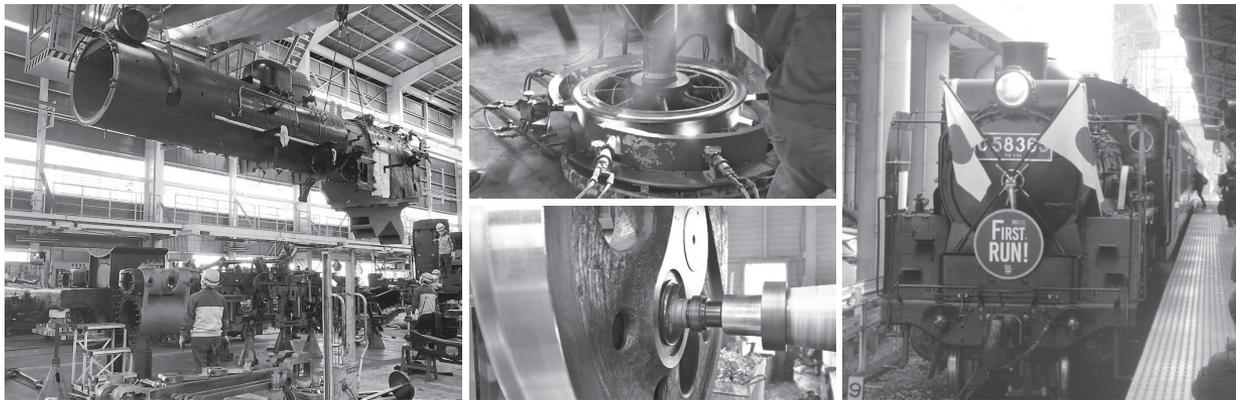


株主資本等変動計算書

(単位: 千円)

科目	当会計年度 (2020年度)	前会計年度 (2019年度)
株主資本		
当期首残高	234,623	299,608
当期変動額		
当期純損失(△)	△ 318,724	△ 136,442
自己株式の取得	△ 162	△ 773
自己株式の処分	4	—
土地再評価差額金の取崩	136,063	72,211
当期変動額合計	△ 182,818	△ 64,984
当期末残高	51,805	234,623
評価・換算差額等		
当期首残高	10,009,562	10,254,914
当期変動額		
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△ 35,280	△ 245,351
当期変動額合計	△ 35,280	△ 245,351
当期末残高	9,974,282	10,009,562
純資産合計		
当期首残高	10,244,186	10,554,522
当期変動額		
当期純損失(△)	△ 318,724	△ 136,422
自己株式の取得	△ 162	△ 773
自己株式の処分	4	—
土地再評価差額金の取崩	136,063	72,211
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△ 35,280	△ 245,351
当期変動額合計	△ 218,099	△ 310,335
当期末残高	10,026,087	10,244,186

* 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。



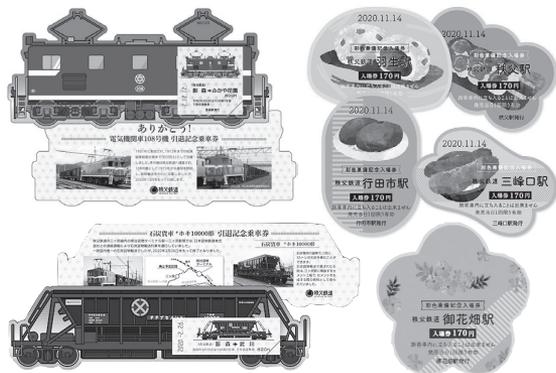
SLパレオエクスプレス全般検査&運行再開

SLパレオエクスプレス(C58363号機)は2020年2月から約1年間という時間をかけ、もっとも大掛かりな検査である全般検査を実施いたしました。検査はすべての部品を取り外して行われ、老朽化した部品は修理・交換をいたしました。2021年2月13日に無事SL運行を再開し、心待ちにしていたお客様へC58363号機の雄姿を披露することができました。



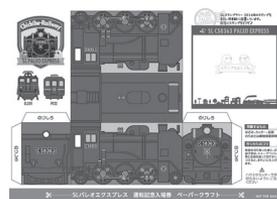
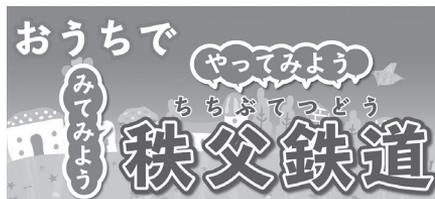
三峰口駅「SL転車台公園」の整備

秩父鉄道終点三峰口駅の鉄道車両公園跡地を利用し創立120周年記念事業として「SL転車台公園」を整備いたしました。開園日の2020年11月3日にはオープニングイベントを開催し、たくさんのお客様にご来園いただきました。



記念乗車券&記念入場券の発売

電気機関車108号機や石炭貨車の引退にちなむ乗車券や他社とのコラボ乗車券など、本年も趣向を凝らした様々な乗車券・入場券を発売いたしました。



各種企画列車の運行

夜行準急「奥秩父アルプス」、SL渋沢栄一号など、SL列車や急行列車を利用し、沿線の企業や自治体等と連携した企画列車を運行いたしました。

WEBサイト「おうちで秩父鉄道」の公開

2020年4月、コロナ禍の中でも自宅で秩父鉄道を楽しんでいただけるよう「おうちで秩父鉄道」プロジェクトを立ち上げました。ペーパークラフトや塗り絵の掲載、YouTubeチャンネルでの展望動画や応援ソングの配信など各種WEBコンテンツをホームページ上に公開し、秩父鉄道の魅力を発信しております。



観光事業

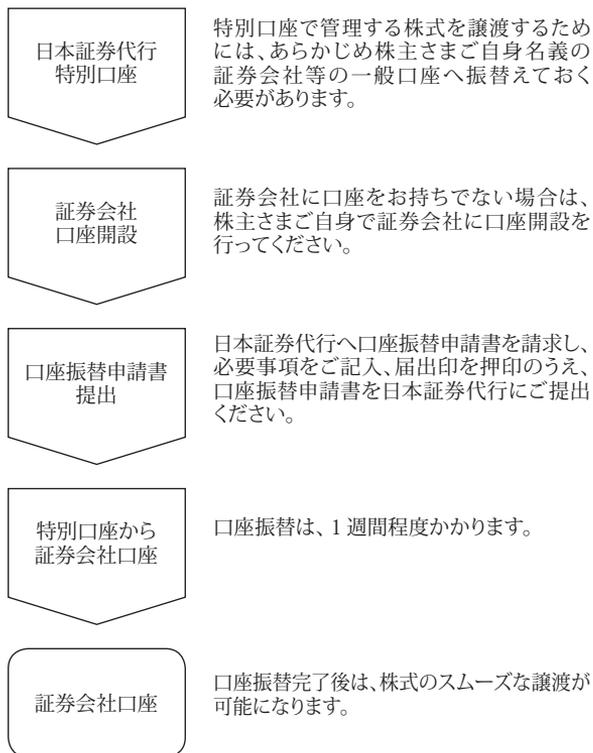
各施設において、新型コロナウイルス感染症対策を施し、お客様をお迎えいたしました。長瀬ラインくんだりでは、密にならぬよう乗船人数を制限して運航し、ロープウェイとのキャンペーンなどを行いました。宝登山小動物公園では、「夏の昆虫展」や「モルモットの橋渡し」などのイベントを開催いたしました。有隣倶楽部では「旬の膳・松茸御飯と土瓶蒸」をはじめ、四季折々の料理を提供したほか、ガーデンハウス有隣と長瀬駅前通りの「有隣」では秩父名物「わらじかつ丼」「豚みそ丼」を提供し、多くのお客様にご利用いただきました。また、宝登山ロープウェイでは、「雲海鑑賞便」等の特別運行や「蠟梅ライトアップ」を行うなど宝登山の新たな魅力を発信いたしました。

証券会社に口座をお持ちでない株主さまへ

株券電子化(平成21年1月5日実施)の際に、証券会社等の口座で当社株式を管理されていなかった株主さまの株式は、当社が日本証券代行株式会社に開設した特別口座で管理されています。

「特別口座」で管理されている株式を譲渡する場合は、特別口座と同一の名義で開設されている証券会社等の一般口座へ振替を行う必要があります。将来の株式譲渡をスムーズに行えるように、あらかじめ特別口座から一般口座に振替えておくことをお勧めします。

特別口座からの振替のご案内



単元未満株式の買取・買増制度のご案内

【単元未満株式の買取請求・買増請求について】

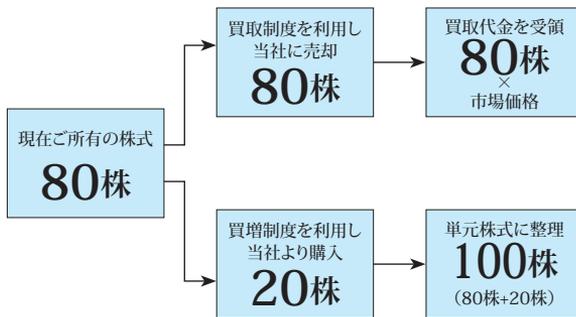
当社の単元株式数は、100株ですので、100株未満の単元未満株式は市場で売買取ることができません。

当社では、「買取請求制度」「買増請求制度」を用意しておりますので、ぜひお手続きくださいますようお願いいたします。

買取制度

ご所有の単元未満株式を当社に買取よう請求できる制度です。

(例)当社株式を80株ご所有の場合、その80株を市場価格で当社に売却し、代金を受領する。



買増制度

ご所有の単元未満株式を1単元(100株)の株式にするために必要な株式を買増することを当社に請求できる制度です。

(例)当社株式を80株ご所有の場合、20株を市場価格で当社から購入し、100株にする。

特別口座・単元未満株式の処理についてお問合わせ下さい。

日本証券代行 代理人部 (平日9:00~17:00)

0120-707-843

役員 (2021年6月25日現在)

代表取締役社長	大谷隆男
取締役	高柳功
取締役	武部一弘
取締役	坂本昌己
取締役	中山高明
常勤監査役	根岸俊介
監査役	根本裕介
監査役	岩田雅之

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会基準日	6月
定時株主総会	毎年3月31日
期末配当金	毎年3月31日
中間配当金	毎年9月30日
株主名簿管理人	日本証券代行株式会社
同事務取扱所	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社 本店

(郵便物送付先お問い合わせ先)	〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部 0120-707-843(フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の 全国本支店においても行っております。
公告方法	東京都において発行する日本経済新聞
単元株式数	100株
皆様へのお願い	住居表示の変更・ご転居の際は、郵便物が 間違いなく届きますよう、お早めに上記株主 名簿管理人にお手続きください。

ホームページ <https://www.chichibu-railway.co.jp>
※(鉄道ニュースやイベント情報がご覧いただけます。)

毎年3月31日の最終の株主名簿に記録された株主さまに
対して、その所有株式数に応じて次のとおり優待乗車証・優待割引券を
発行いたします。

1. 優待乗車証(定期券式)

ご所有の株式数に応じまして、優待乗車証を発行いたします。

ご所有株式数	乗車証の種類	発行枚数
1,500株以上 2,100株未満	当社電車全線優待乗車証	1枚
2,100株以上	当社電車全線および・索道 (宝登興業株式会社) (宝登山ロープウェイ) 全線優待乗車証	1枚

※有効期間・・・6月1日から1ヵ年間(5月下旬発送)

2. 優待乗車証(回数券式)

ご所有の株式数に応じまして、優待乗車証を発行いたします。

ご所有株式数	発行枚数
100株以上 300株未満	2枚
300株以上 500株未満	4枚
500株以上 1,000株未満	6枚
1,000株以上	10枚

※有効期間・・・7月1日から1ヵ年間(6月下旬発送)

3. 優待割引券

ご所有株式数100株以上で、優待割引券を発行いたします。

施設名	発行枚数
宝登山小動物公園	特別入園券 5枚
長瀬ラインくんだり	50%割引券 各5枚
有隣倶楽部お食事代(飲み物は除く)	
ガーデンハウス有隣お食事代 (飲み物は除く)	

※有効期間・・・7月1日から1ヵ年間(6月下旬発送)

秩父鉄道株式会社

〒360-0033 埼玉県熊谷市曙町一丁目1番地

TEL 048-523-3311(代表)

URL <https://www.chichibu-railway.co.jp>

